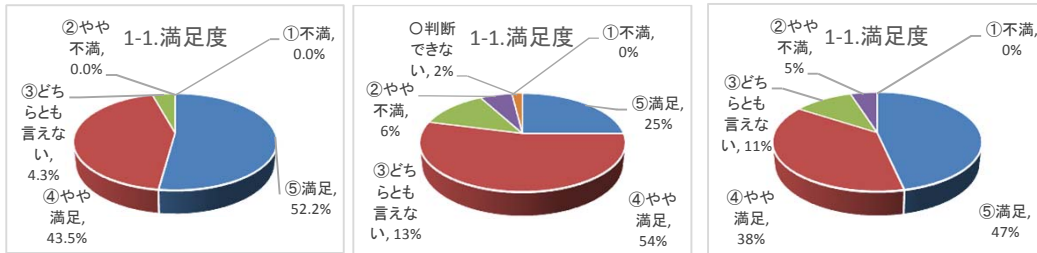


第12回
早稲田大学理工学部

第11回
オリンピック記念青少年C

第10回
早稲田大学理工学部

1. シンポジウムの満足度



満足、やや満足を合わせた数でも、満足の数でも、昨年を上回っており、全体的に満足度の高いシンポジウムとなったことを表している。これは、昨年と比較して、プログラム面で、多様な構成となっていたことや、会場関係の利便性などが大きく向上したためと推察される。

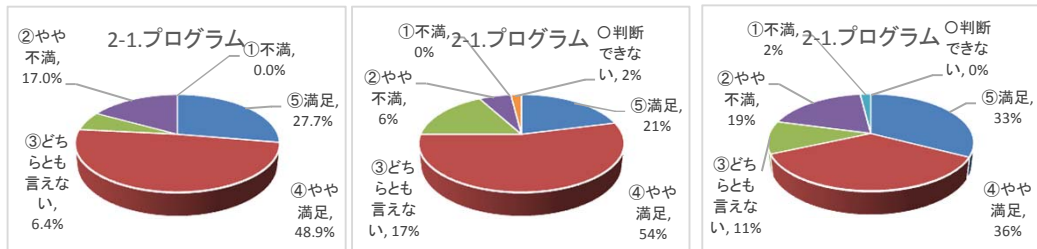
[満足]

- 1) 具体的な発表が多く聞けたのが良かった。
- 2) 新しい視点の発表が聞けたこと。
- 3) 他社の取り組みを知ることができた。
- 4) 基調講演、特別講演、チュートリアルと、企画したものは概ね好評だった。
- 5) 泊りの部が欲しい。
- 6) テーマの総評があれば、もっと分かり易い。

[不満]

- 1) 外国からの発表が少なく、国際性に乏しい。
- 2) 特別講演は、よりTRIZとのつながりのあるものを求める意見もあった。
- 3) 具体的事例が少ない。
- 4) かけ足での発表や中身が薄いと感じる発表があった。

2. プログラムの満足度



全体的には傾向は同じであるが、やや不満の数が増えているのが気になる点だ。プログラム全体としては満足のいく内容だったようだが、逆に、聞きたいものが多かったために、ダブルトラックで両方のトラックを聞きたかったという意見や、ポスターセッションが見え辛かったり聞き辛かったりした為に、少し不満が残ったようである。

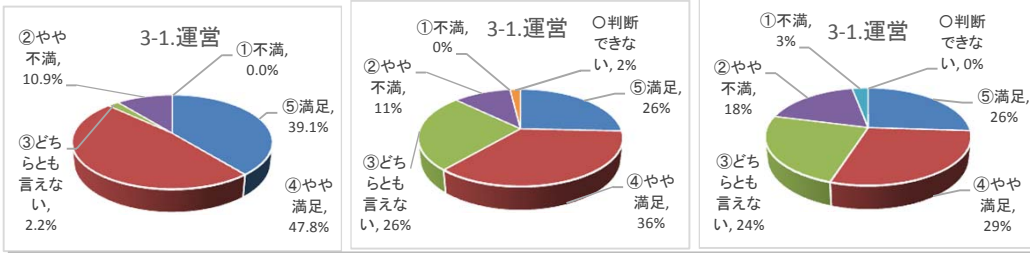
[満足]

- 1) 他社事例が聞けて良かった。また、フェースtoフェースで議論できて良かった。
- 2) AB会場が近く、移動が楽であった。
- 3) 基調講演や、特別講演が良かった。
- 4) 実際に使うエンジニアからの発表をもっと希望。
- 5) 工学的な事例以外の事例を聞きたかった。
- 6) カテゴリで分けるやり方の提案や、オープンタスクを独立させる提案などもあった。

[不満]

- 1) ダブルトラックで両方聞きたい発表があつて残念。
- 2) ポスターセッションで文字が小さく見辛いもの、また発表の音が隣と干渉して、聞き辛かったものがあった。

3-1.運営



満足、やや満足を足した数は大幅に増えたが、やや不満の数が昨年と同程度で推移している。これは、全体としては良くなったものの、会場の空調の問題と、ポスターセッションの設営の問題によるものだろうと推察され、改善の余地がある。

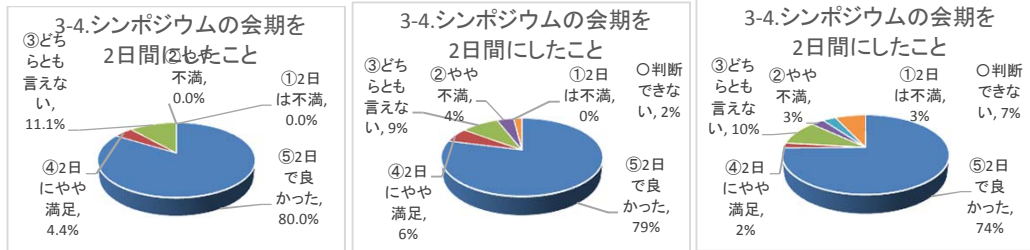
[満足]

- 1) 会場がゆったりとしていて、AB会場も隣接していて、移動が楽であった。
- 2) ボランティアなのに、スムーズに進行している。
- 3) 交流会で他社と情報交換できて良かった。
- 4) 様々な形式の発表で飽き来ないような工夫が見られた。

[不満]

- 1) 質問のやり方や時間を改善して欲しい
- 2) 会場の空調が悪い(寒い)
- 3) 写真撮影者が頻りに動いて気になる。
- 4) コンセントが少ない。
- 5) ポスターセッションの位置が隣と干渉して良くない。

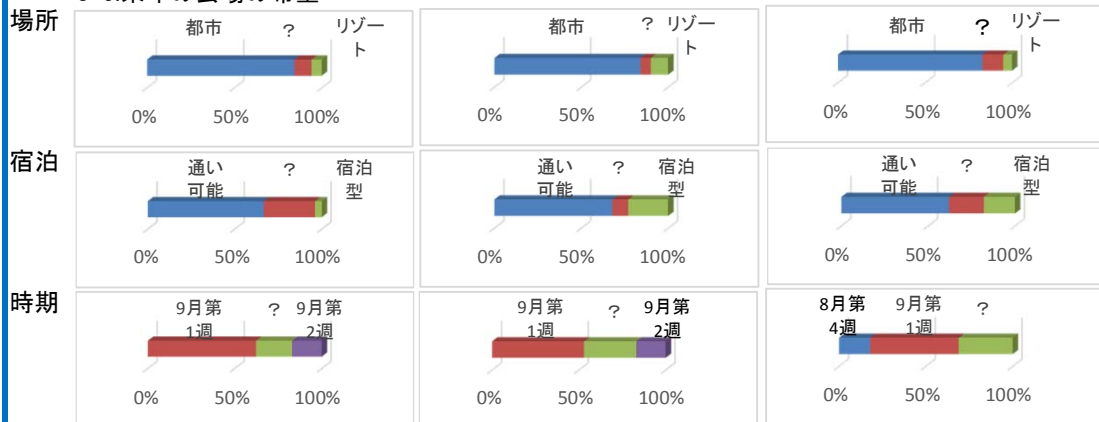
3-4.シンポジウムの会期を2日間にしたこと



2日で良かったという意見が大半ではあり、現実的な選択のようであるが、その制約の中で価値を高める工夫も必要であることを感じさせる意見があった。今後の課題としたい。

- 1) 2日でのダブルトラックでは聞けない発表があるが、3日間では参加が厳しいために、現状が妥当。
- 2) 一般発表以外のプログラムを工夫して、もっと充実した構成を組めないだろうか。

3-5.来年の会場の希望



当日はお忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。頂きましたご意見につきましては、真摯に受け止め、よりよいシンポジウムが開催できる様、努力して参ります。